

令和5年度温室効果ガス排出量を可視化する研究開発用WEB画面  
構築委託業務公募型プロポーザル審査結果

1 審査日および会場

日時：令和6年1月9日（火）9時30分～11時10分

場所：高知県農業技術センター

2 参加者数 1社

3 審査基準

総合得点は1,000点（審査員一人あたり200点）とし、審査項目毎の審査員一人あたりの配点は次のとおり。

審査の項目		審査の視点	配点
(1) 企画提案内容	研究員への伴走支援	研究員への伴走支援方法について、研究員への指導方法、スキルアップ方法、資料作成やその人員体制、スケジュールなど、具体的かつ充実した支援体制を提案できているか。	60
	研究環境の仕様把握とStreamlitの利用環境の構築方法	研究環境の仕様を把握し、Streamlitの利用できる環境構築するための工程について、構築サイクルのあり方や進捗管理、本番および研究環境運用業者や研究員など開発関係者との情報共有の方法や工夫について具体的に記述されているか。	40
	研究開発用WEB画面作成への提案	PythonとそのライブラリStreamlitを使用した研究開発WEB画面作成方法について、実現可能で具体的か。 そのほかのライブラリ、フレームワークの提案がある場合、研究員が利用開発しやすいものであるか。	30
(2) 類似業務の実績	業務実績	類似業務の実績が優れているか。	15
(3) 実施体制、スケジュール、見積金額	実施体制	業務を円滑に進めるため、十分な実施体制となっているか。担当者や役割が明確化されているか。	30
	スケジュール	実施体制が有効に機能すると共に合理的なスケジュールが作成されているか。	20
	見積金額	業務に適切な経費が計上してあるか、見積もりは妥当であるか。	5

#### 4 審査結果一覧表

	参加者名	総合得点
候補者	株式会社カミノバ	790 点/1000 点

#### 5 候補者選定理由

企画提案書の内容、プレゼンテーションと質疑応答の結果に基づき、各審査委員（5名、各200点満点）が審査（採点）を行い、その後、審査委員全員の審査（採点）を合計したうえで、企画提案者が委託契約の相手方候補者としてふさわしいか選定した。

#### 6 審査委員の主な意見等

- これまでの経験実績が行かせた業務が期待される
- 構築までのスケジュールが具体的に示されており、構築するためのスキルも十分にあると思われる。
- 短期間であるが良い成果の創出に期待する。
- WEB 開発スキル、ノウハウを有している。
- 取り組みの新規性は大いに評価できる。また、農技センターの研究員の方々への伴走支援も問題ないと思われる。
- 内容によっては初めての取り組み案件もあるため、その点が心配材料となる。
- WEB 画面（モック作成）の具体的な構築イメージの提案があると良かった。
- Python、ストリームリットの知見は乏しい。
- プレゼンの際に温室効果ガスへの言及がなかったのが残念。最後のスライドは旧 IoP の内容。事業における温室効果ガス\_排出量についての認識をもう少しもっていただければと感じた。